

「Status of Power System Transformation 2018 –Advanced Power Plant Flexibility-」の日本語版の公表について

「Status of Power System Transformation 2018 – Advanced Power Plant Flexibility-」は、再エネ拡大のために発電所の柔軟性が重要性であることに対する理解と関心を高めることを目的に、クリーンエネルギー大臣会合での決定に基づき実施された「Advanced Power Plant Flexibility（発電所の柔軟性向上）キャンペーン」の最終報告書として作成されたものです。

日本においても 2012 年以降 FIT に支援されて太陽光、風力などの変動性再生可能エネルギー（VRE）が増加中であり、VRE の変動性、間歇性を調整する発電所の柔軟性は重要性を増してきています。本報告書は、発電所の柔軟性に関する貴重な情報源であると考え、発行元である国際エネルギー機関に日本語版翻訳を申し入れ、承諾を得たうえで弊協会欧米における電力エネルギー及び環境に係る調査研究会が翻訳を行いました。日本の多くの方々にお読み頂ければと思います。

ご意見、ご感想等ございましたら eng@tenpes.or.jp にお寄せください。

こちらから [PDF](#) をご覧ください。